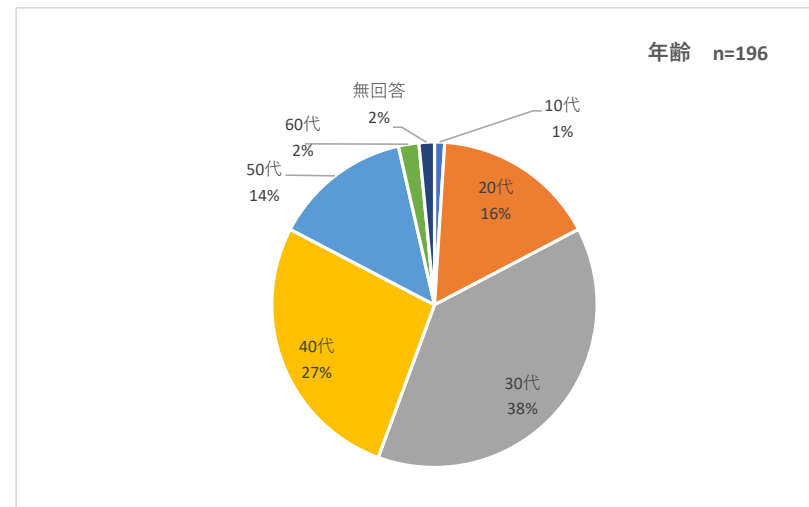
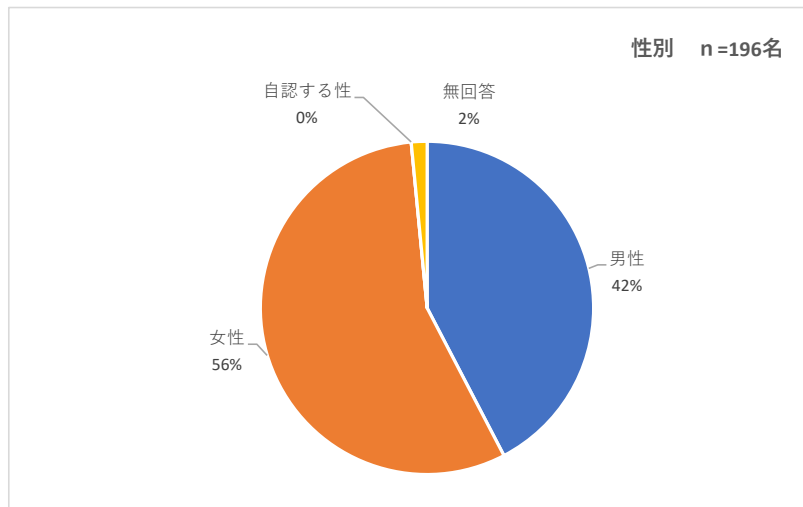


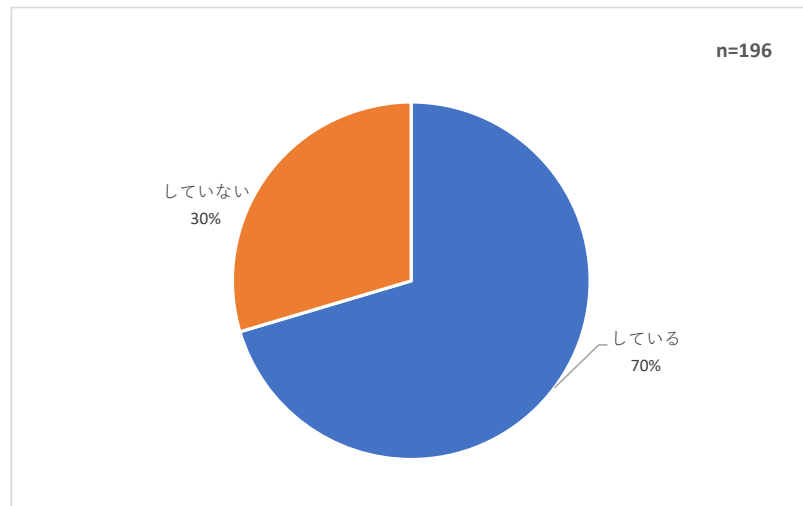
令和元年度

沖縄県ワーク・ライフ・バランス実態調査（従業員）

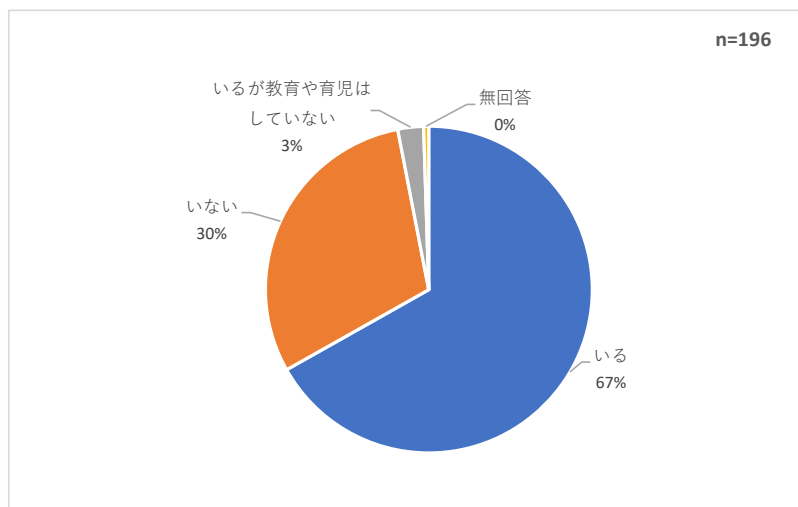
### (1) 年齢と性別 (問1)



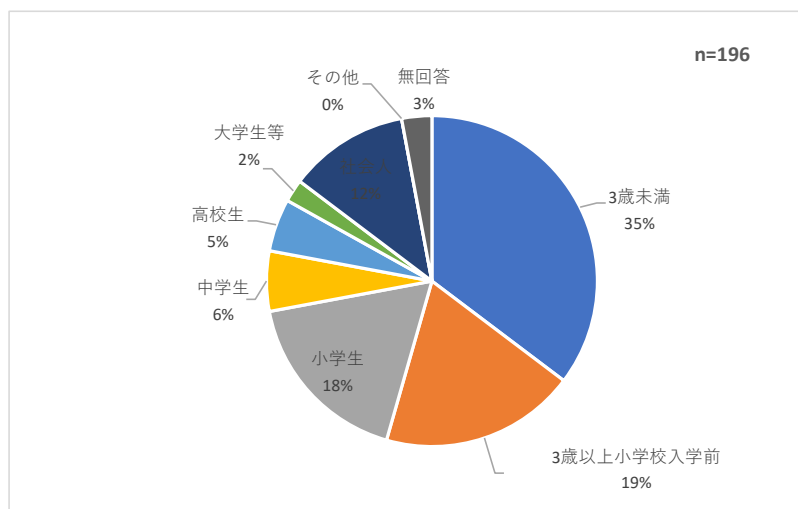
### (2) 結婚していますか (問2)



### (3) お子さんはいますか (問3)

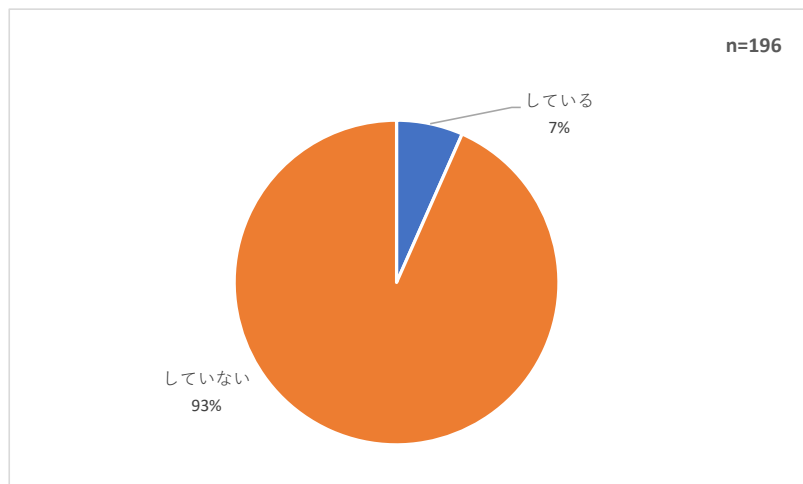


### (4) 一番下のお子さんの年齢 (問4)



今回の回答母集団としては、20代～40代が80%を超え、回答者の約50%が小学校までの子育て中となっている。

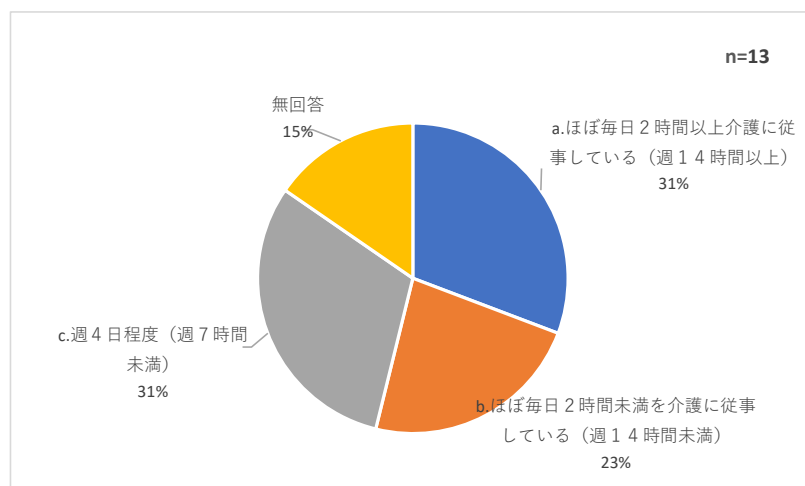
(5) 親や兄弟等の介護をしていますか (問5)



親や兄弟等の介護をしている方

介護をしていない	183名
介護状況にある	13名

(6) 介護時間の程度 (問5)

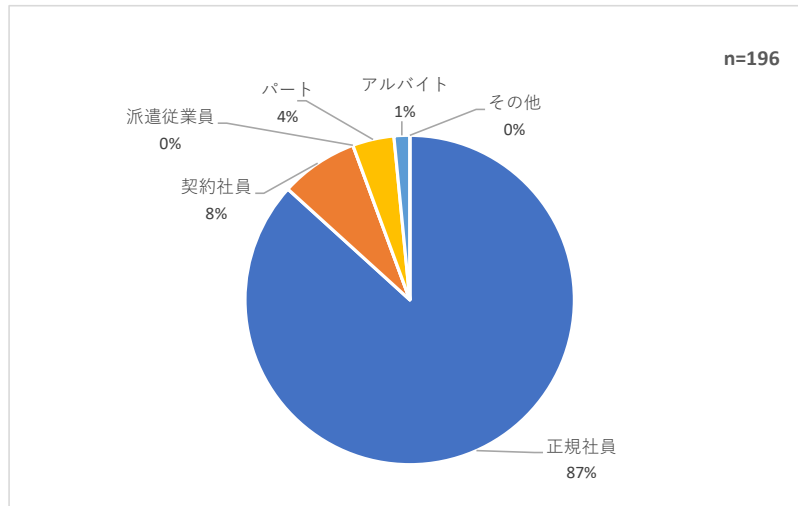


介護状況にある方の雇用形態

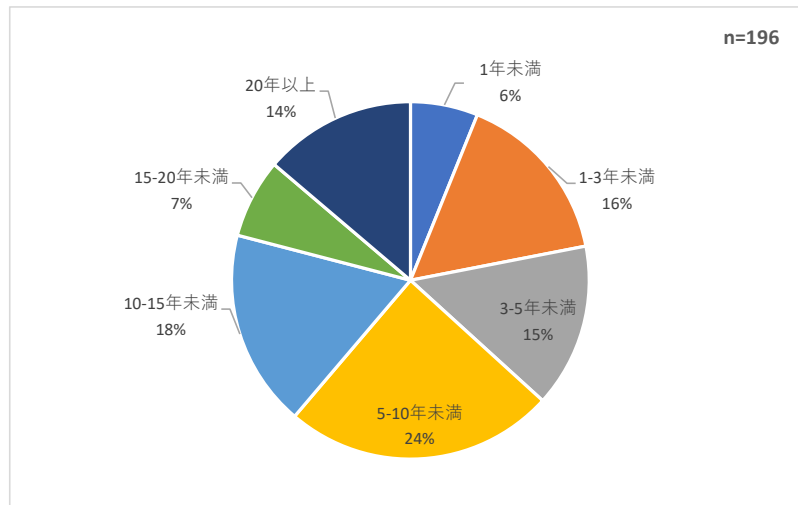
正規社員	11名
契約社員	1名
アルバイト	1名

今回の調査では、介護状況にある方のデータが少なく、介護に関する分析データが不足しているため、介護状況の把握は困難である。

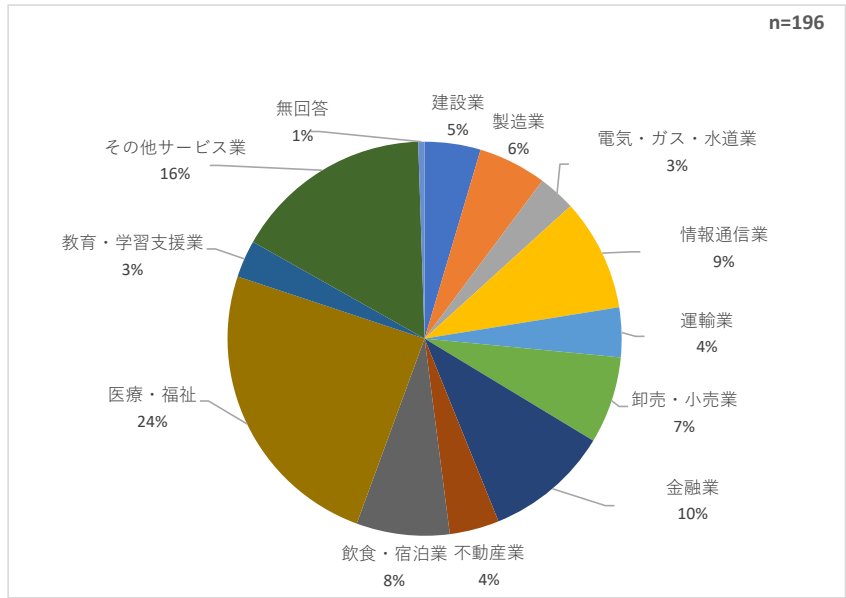
(7) 現在の雇用形態 (問6)



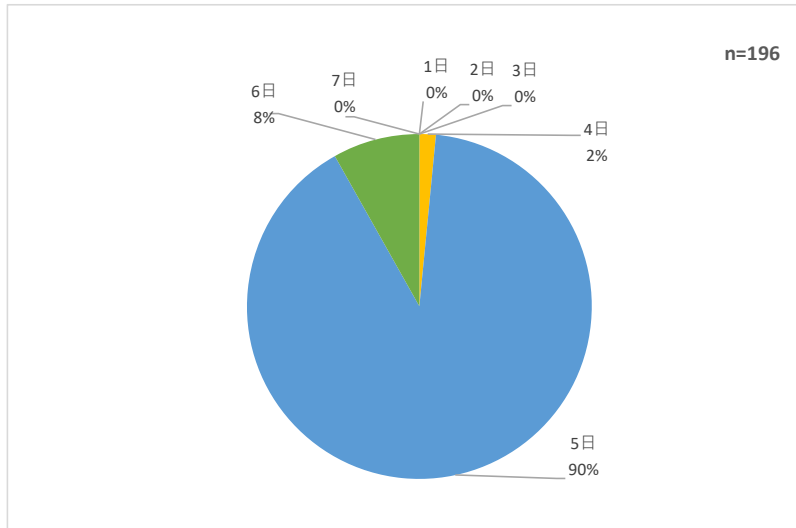
(8) 現在の勤務先での勤続年数 (問7)



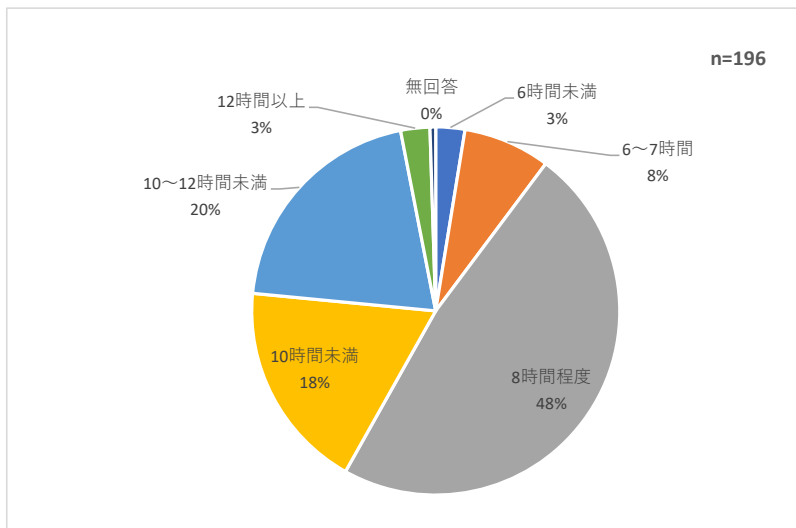
(9) 勤務先の業種 (問8)



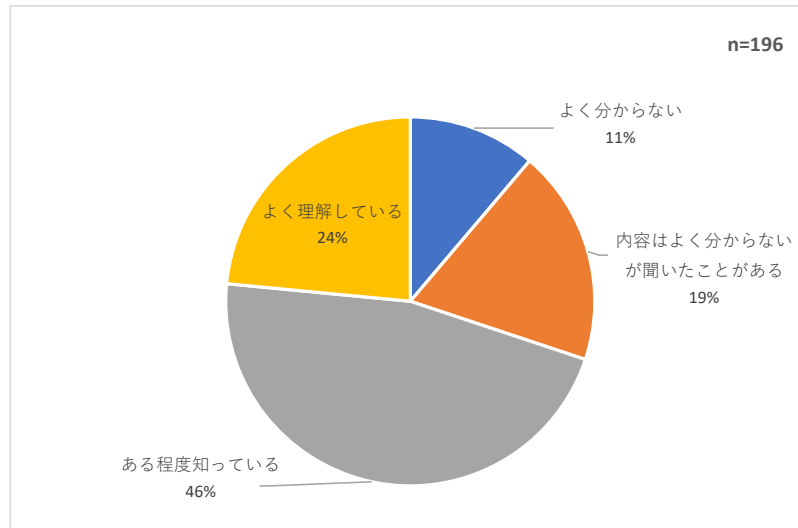
(10) 週の平均労働時間 (問9)



(11) 直近1カ月の1日当たりの労働時間 (残業時間含む) (問10)

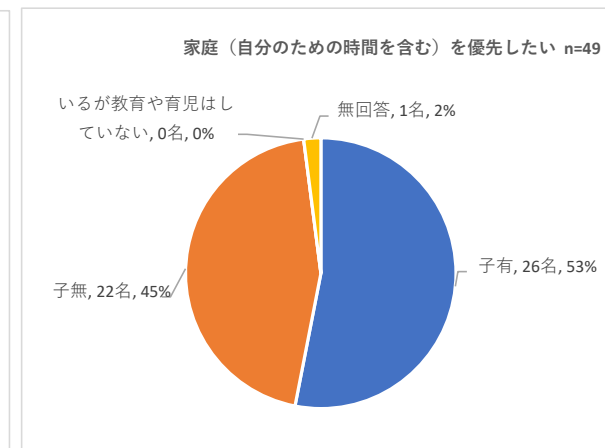
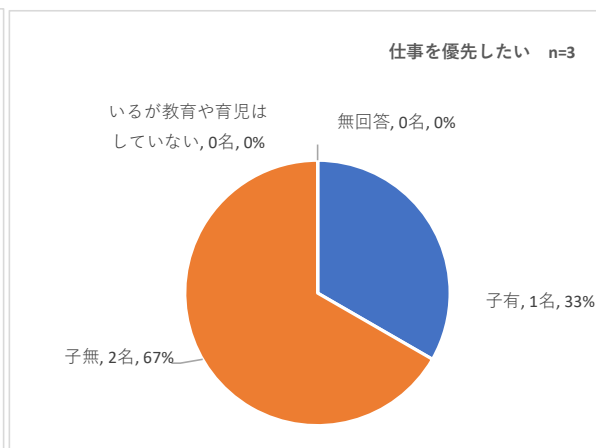
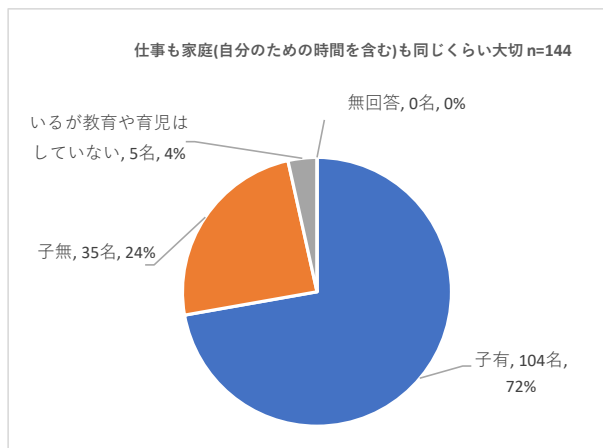
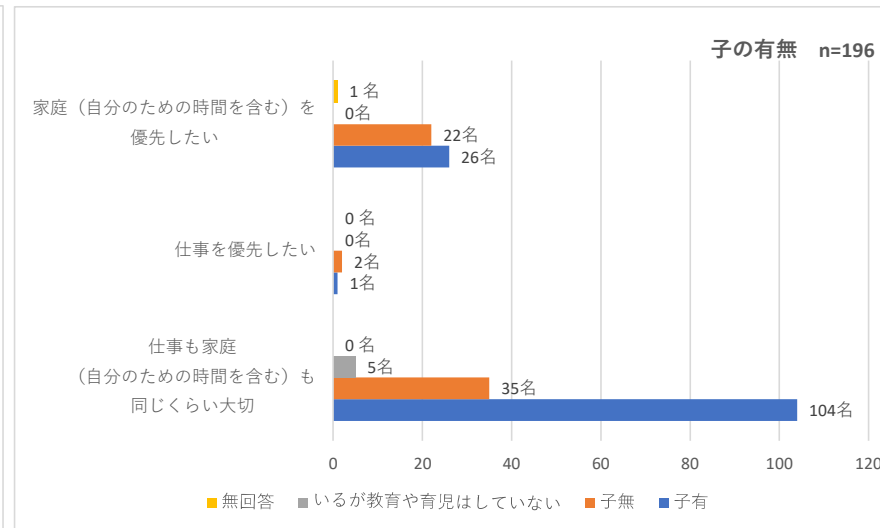
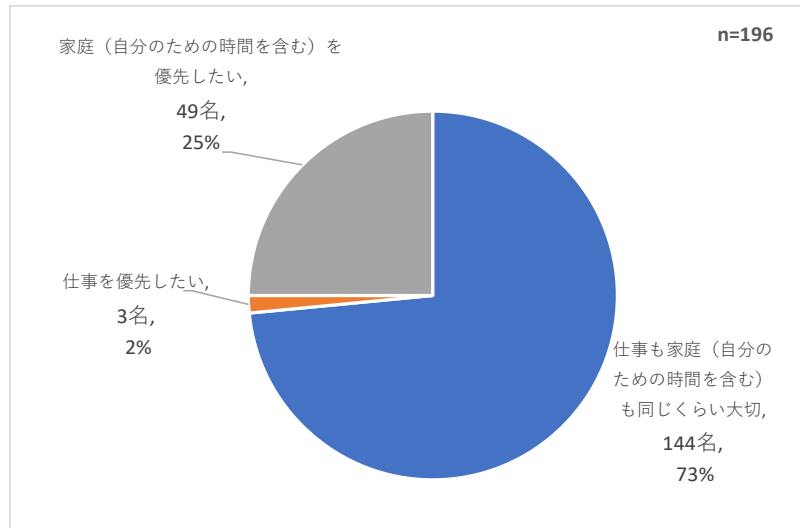


(12) WLBという言葉を知っているか (問11)

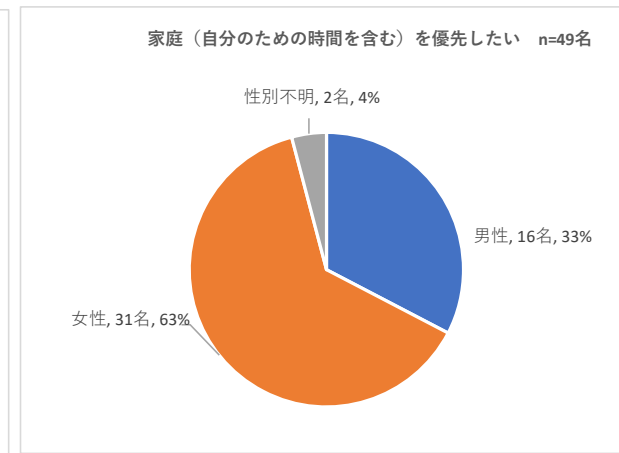
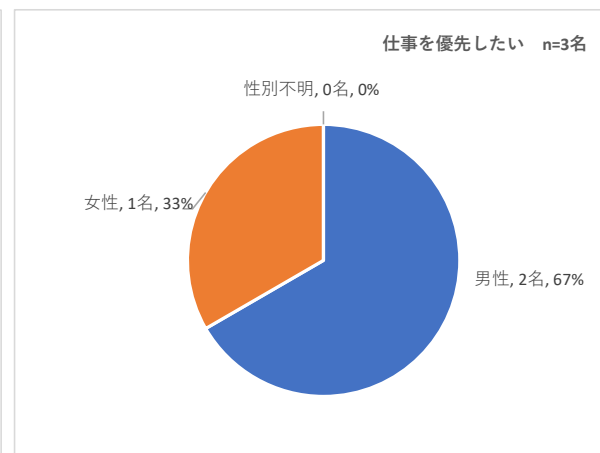
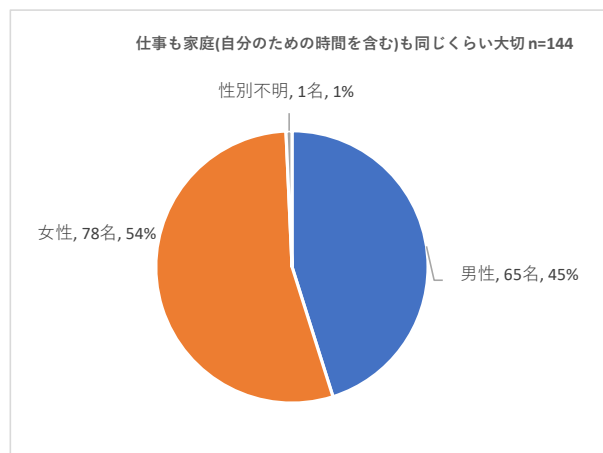
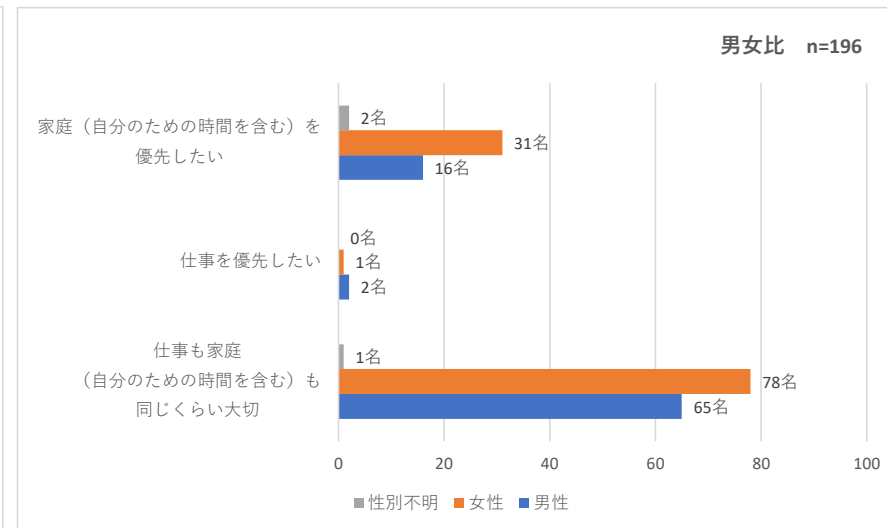
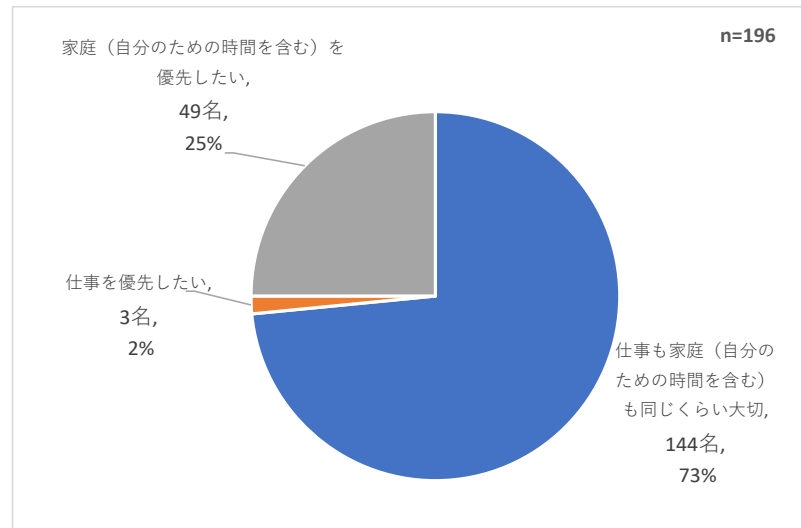




### (13) 生活における優先度 子の有無 (問12)

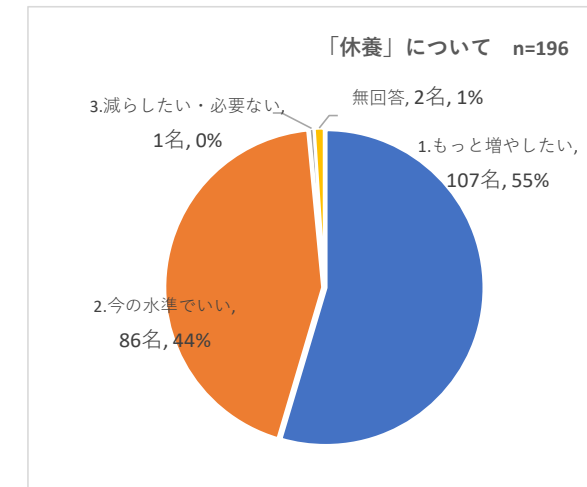
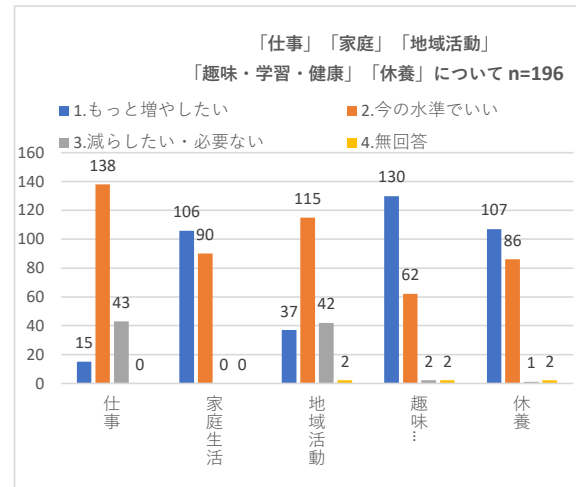
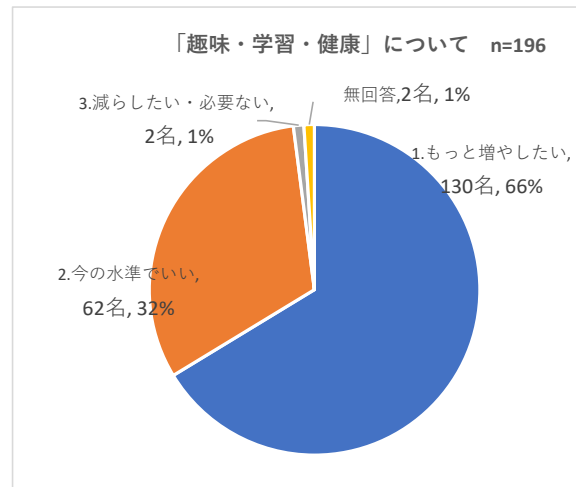
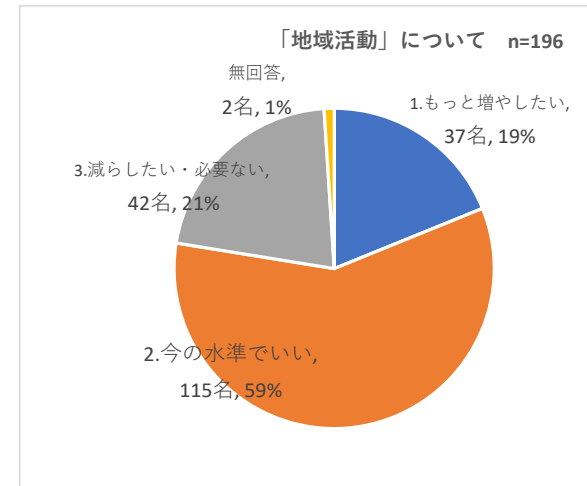
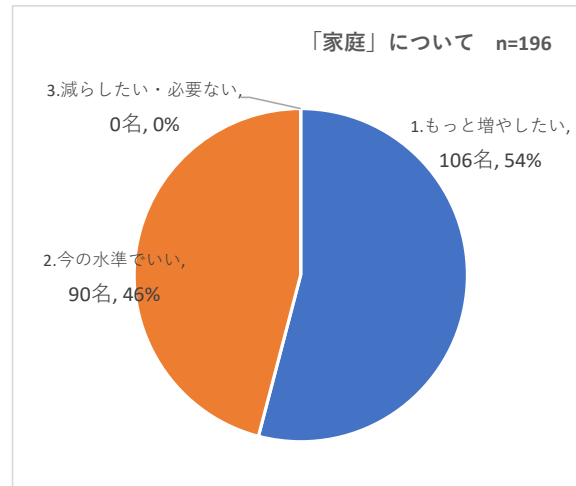
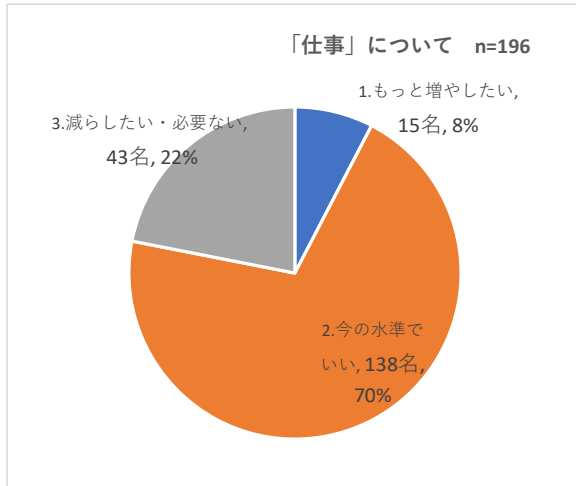


### (14) 生活における優先度 男女比 (問12)



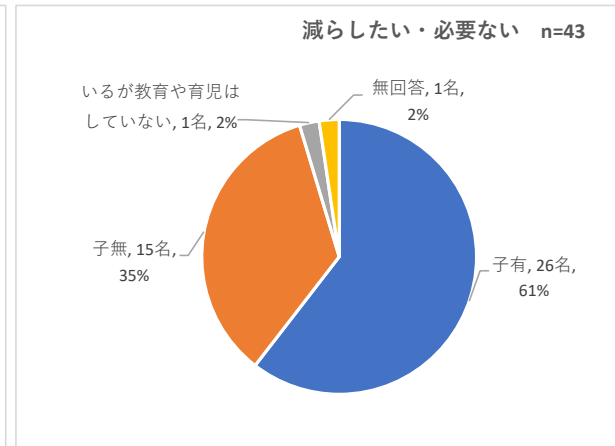
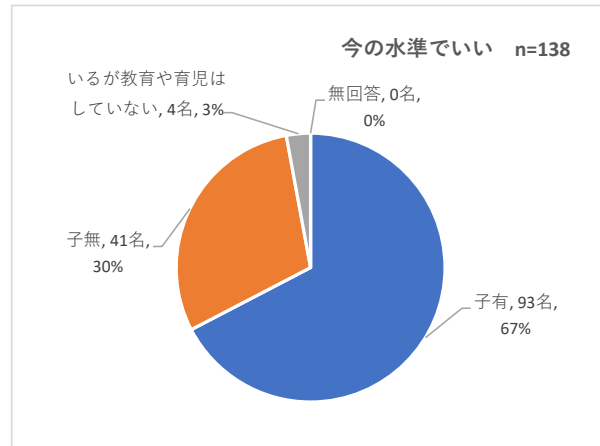
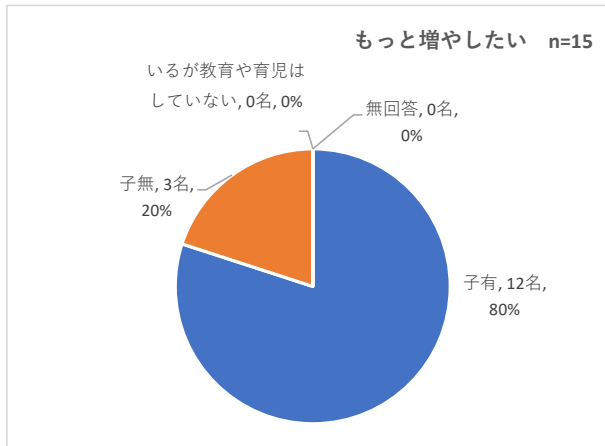
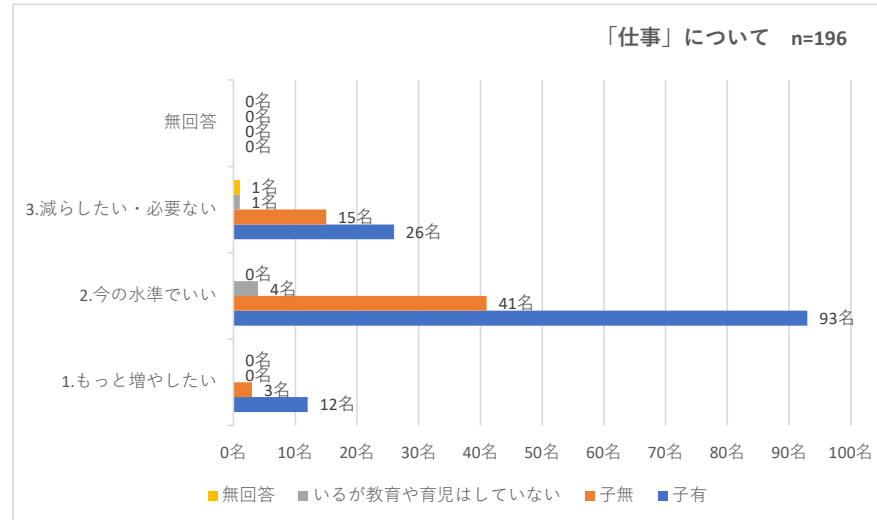
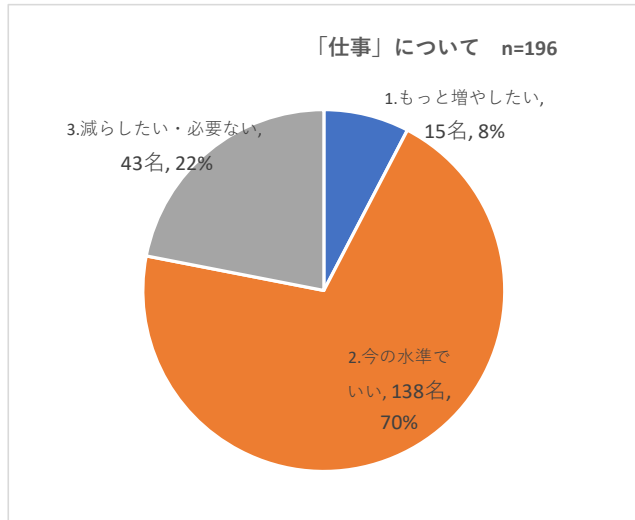
生活における優先度について、仕事も家庭も大切と回答した割合は、子がいない者が約59%であるのに対し、子がいる者では約79%となっている。同じ設問で、家庭を優先したいと答えた割合において、男性が約19%であるのに対し、女性は28%となっている。

(15) 「仕事」、「家庭」、「地域活動」、「趣味・学習・健康」、「休養」についての時間の考え方 (問13)



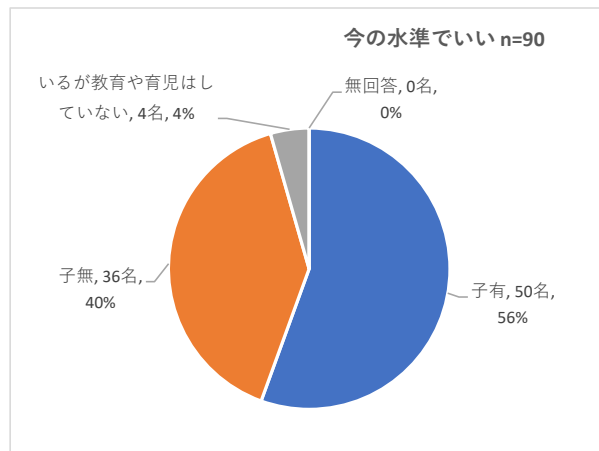
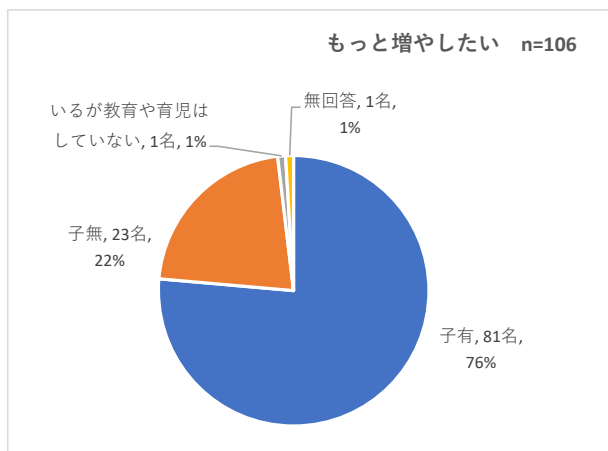
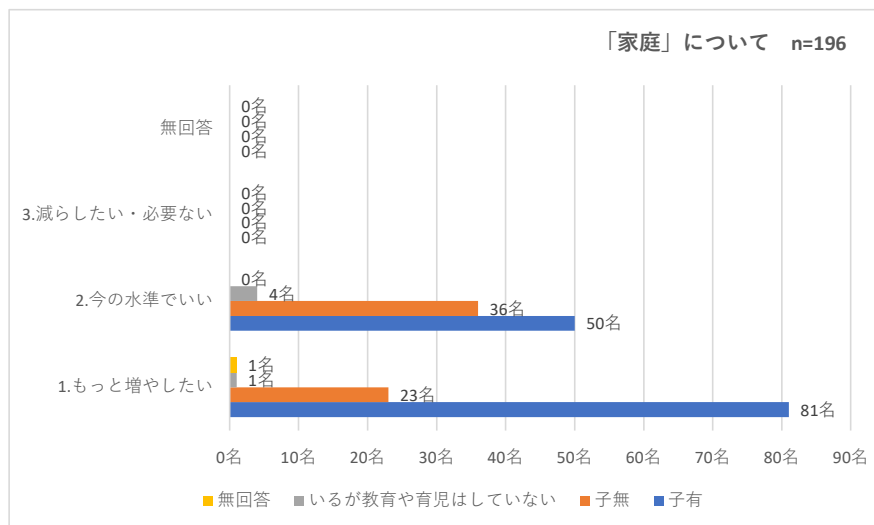
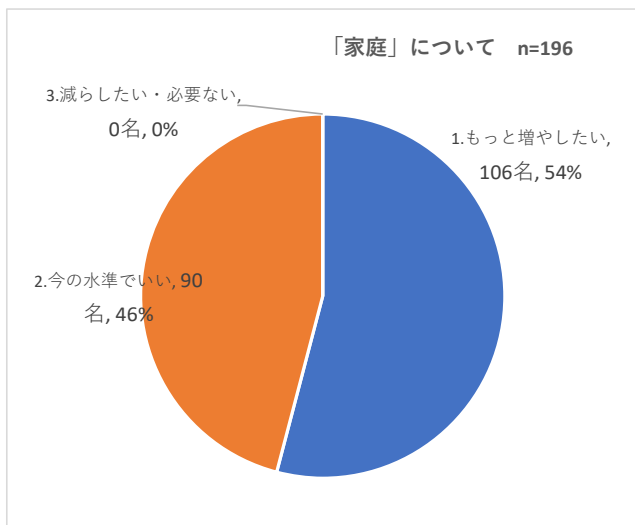
「仕事」と「地域活動」は、「減らしたい・必要ない」が多く、かつ「今の水準でいい」も多いため、概ね現状維持を望んでいることがわかる。また、「家庭」「趣味・学習・健康」「休養」に関しては、増やしたいと思う。つまり、自分の時間が確保できていない事がわかる。仕事や地域活動に時間を取られると、自分の時間だけでなく、家族との時間すら確保できないと考えていることがわかる。

(16) 「仕事」についての時間の考え方 (問13-1)



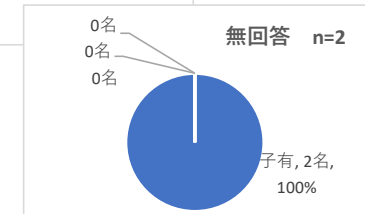
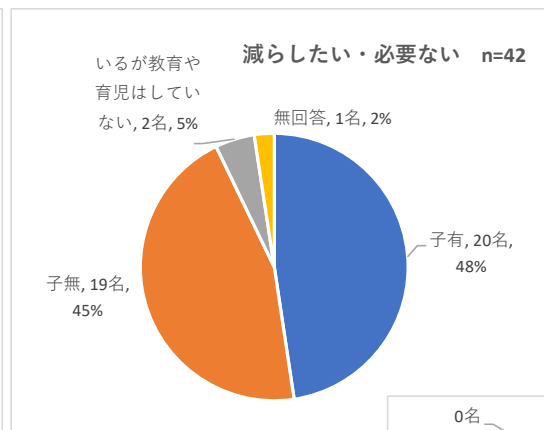
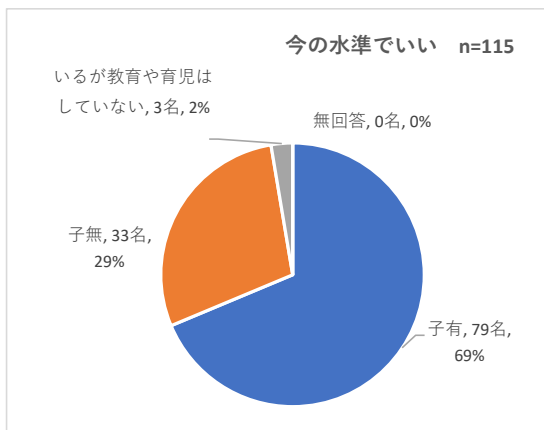
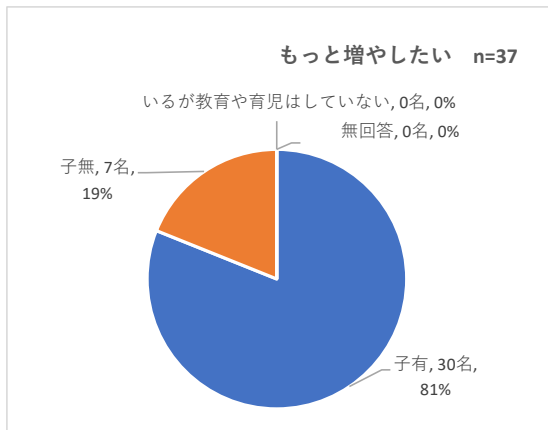
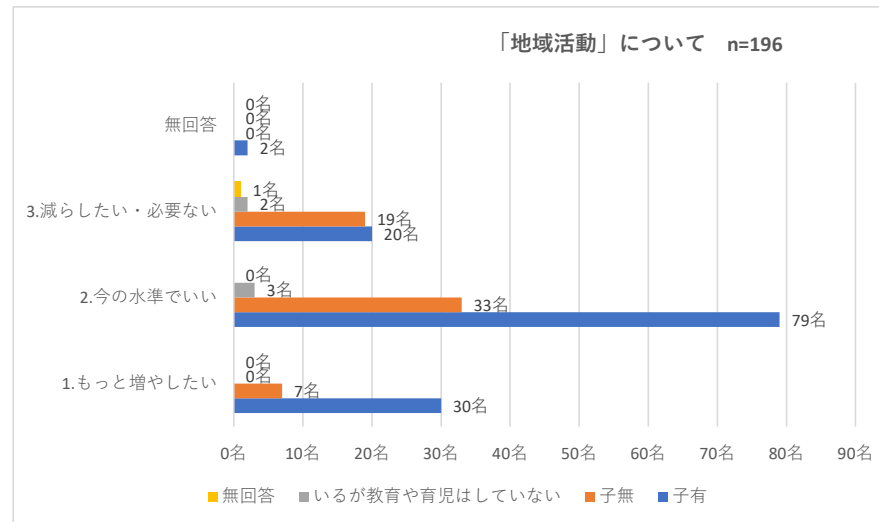
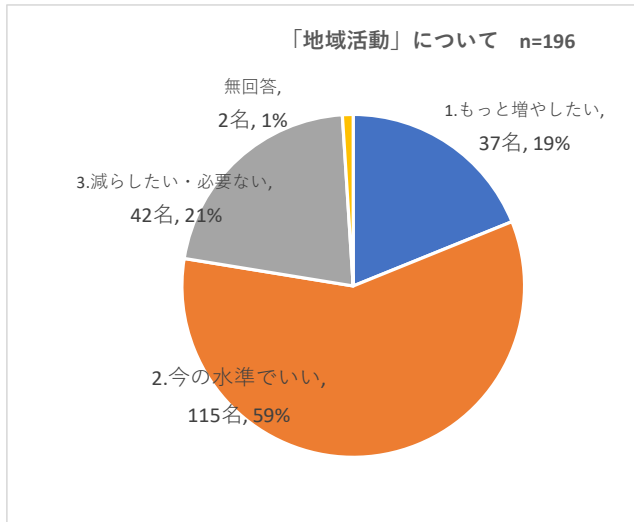
※ 『無回答』0名

(17) 「家庭」についての時間の考え方 (問13-2)

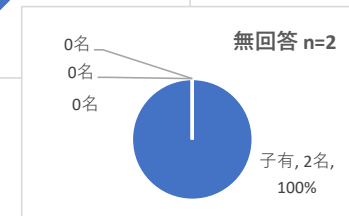
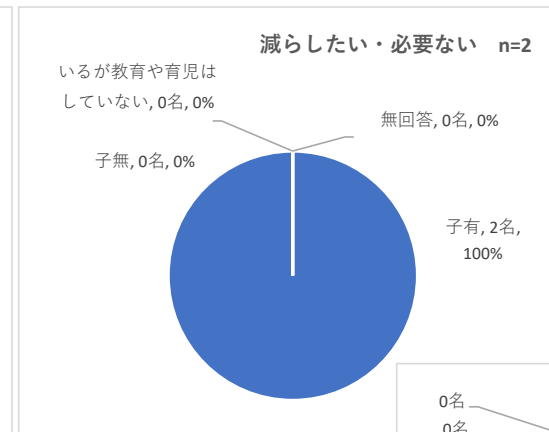
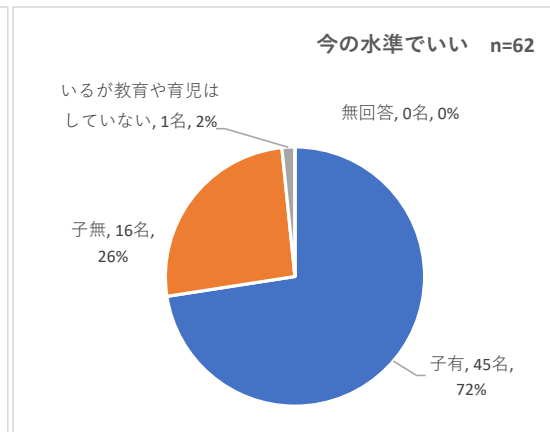
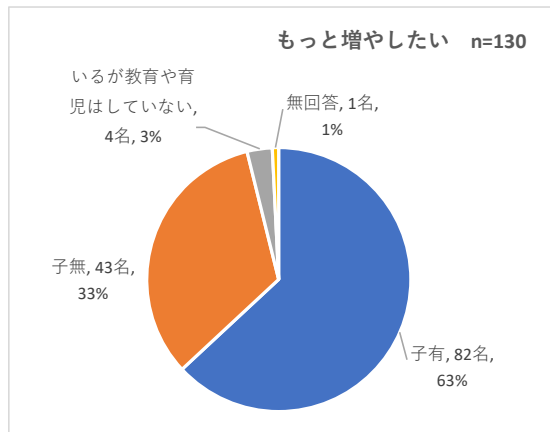
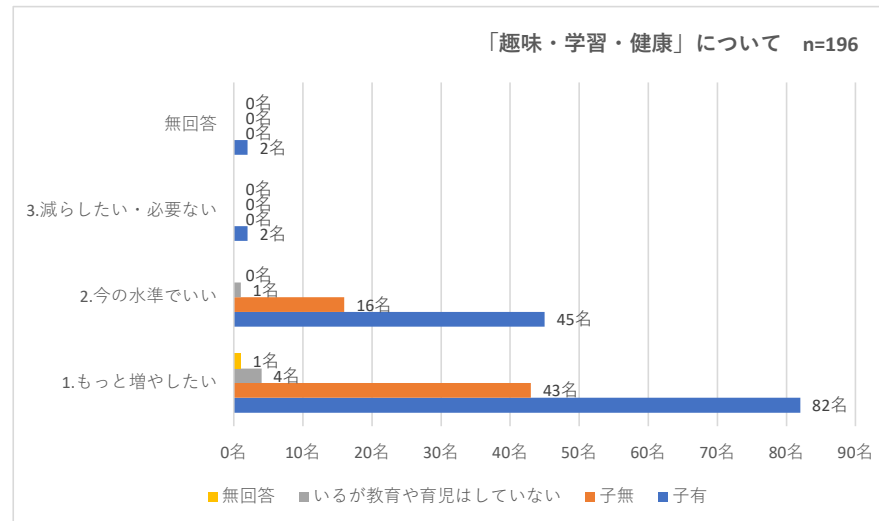
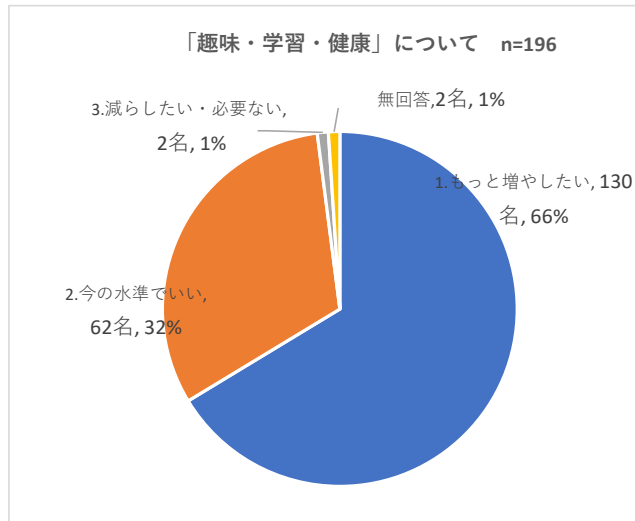


※ 『減らしたい・必要ない』・『無回答』0名

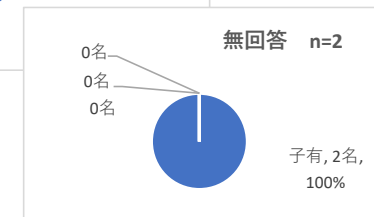
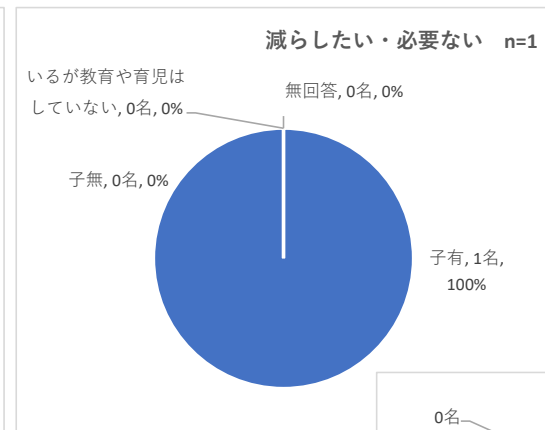
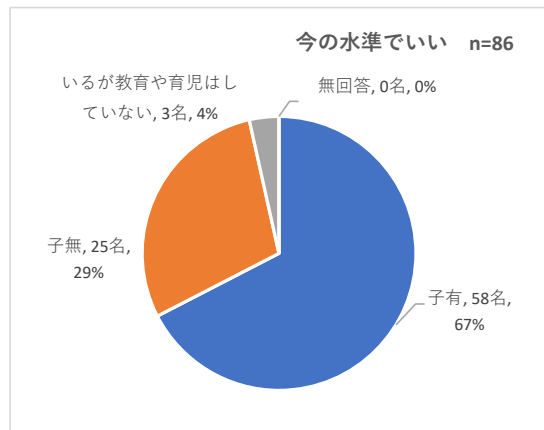
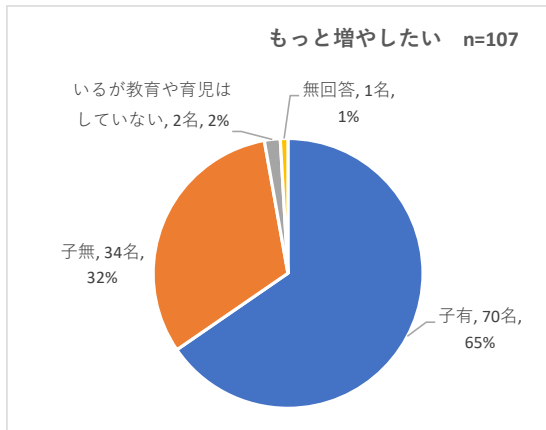
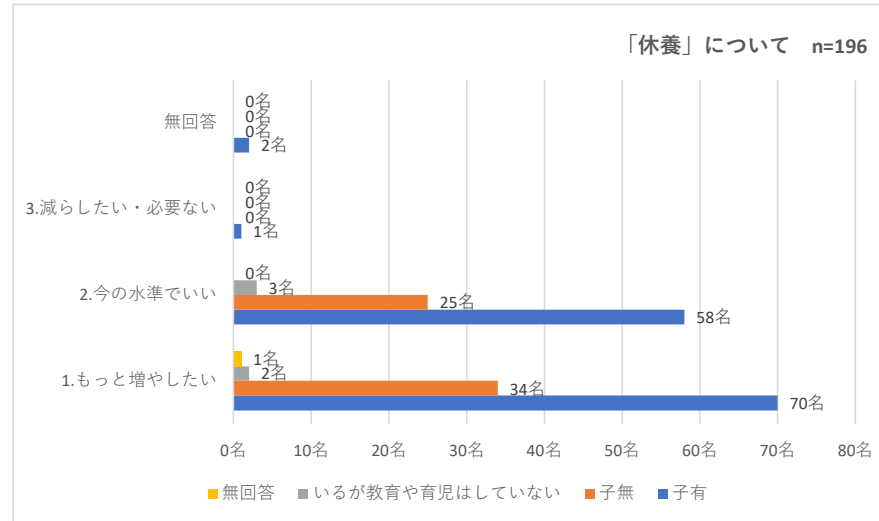
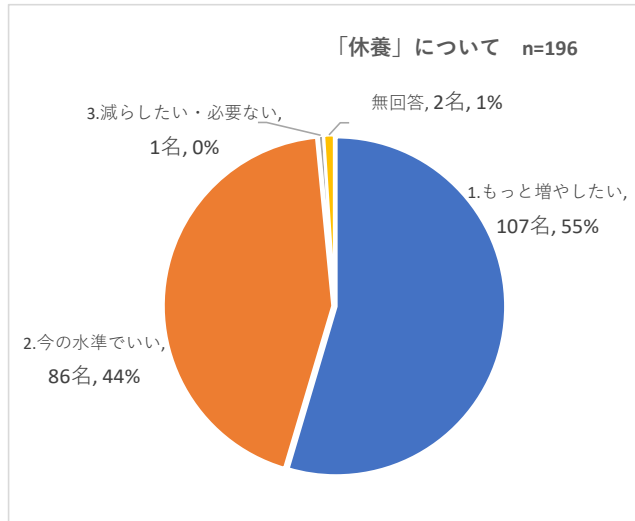
(18) 「地域活動」についての時間の考え方 (問13-3)



(19) 「趣味・学習・健康」についての時間の考え方 (問13-4)

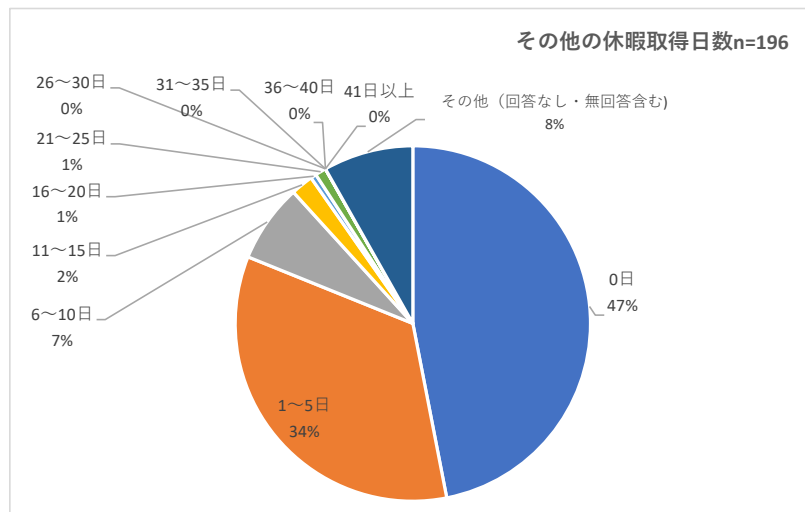
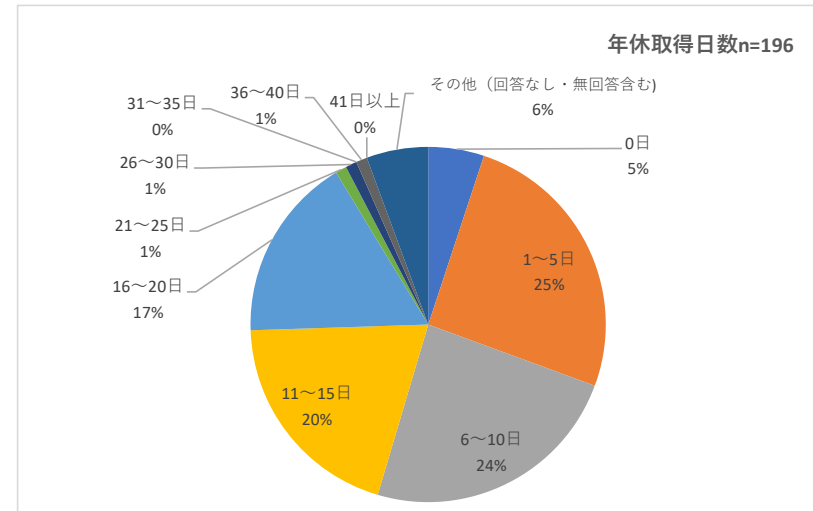
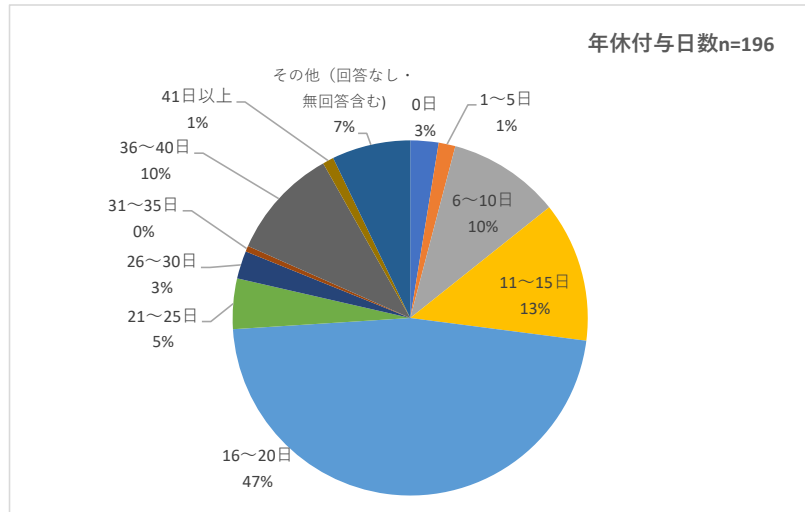


(20) 「休養」についての時間の考え方 (問13-5)



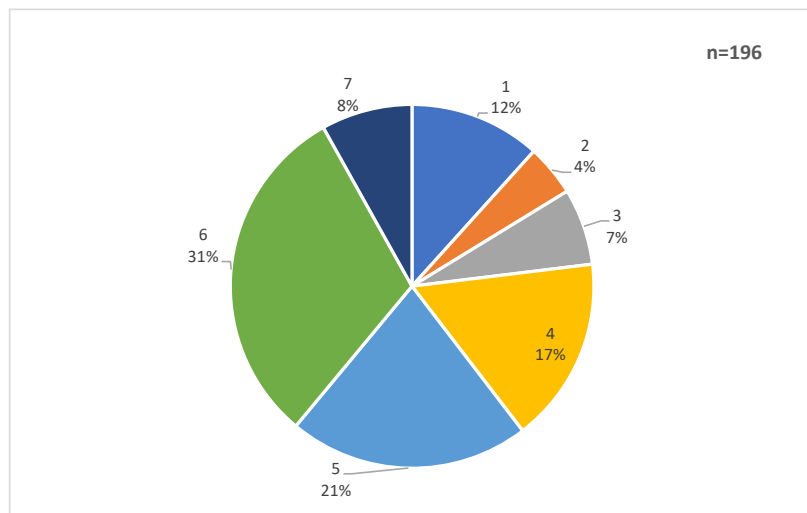


(21) 直近1年間の年休や特別休暇の取得状況 (問14)



年次有給取得率は全体で51.8%であった。なお、平成30年度における全国値は52.4%であった。また、1日も取得していない人も5%いる。  
 (全国値の出典「就労条件総合調査」(厚生労働省))

## (22) 年休（休み）の取得についての考え（問15）



1	職場が忙しいので取りづらい
2	職場全体に年休を取りづらい雰囲気がある
3	理由がないと年休が取れない
4	できるならもっと休みを取りたい
5	理由がなく休むことはしない。(休む必要はない)
6	不測の事態に備えて、年休は常に残しておきたい。
7	その他 ( )

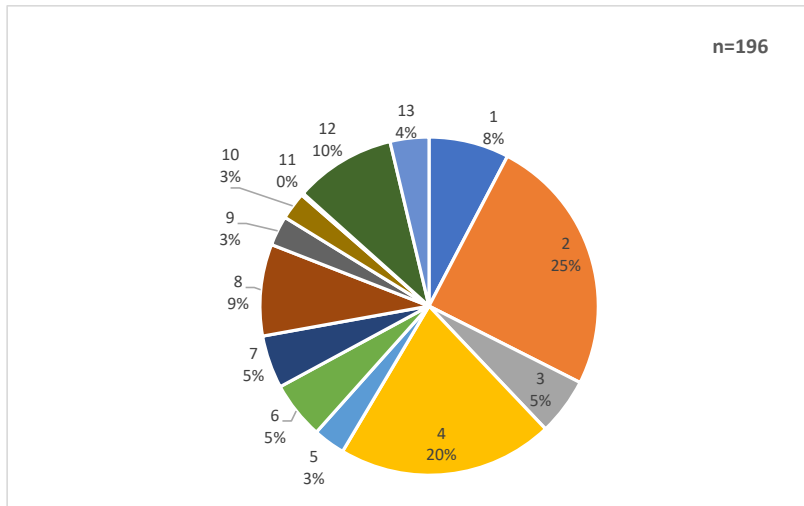
### その他

- ・年休はとれている
- ・職場全体に年休を取りやすい雰囲気がありほぼ自由に年休がとれる
- ・取りやすい職場の環境であると思う
- ・公休のみで満足している
- ・職場としては取りやすい 子供の都合で休むことが増えている
- ・自分が休んだ分だけ自分の残業が増える。他の人が私の仕事をするところがないのでやすむと...
- ・本人の権利なので与えられた日数は自由に取得できるべき
- ・旅行などの長期休暇をもっと積極的に取得したいが取りづらい雰囲気がある
- ・休むと自分にはねかえってくる
- ・比較的自由に取れる
- ・休みは取りやすい環境
- ・月一日は年休を取るようになっている
- ・心身のリフレッシュの為に もっと活用すべき
- ・必要であれば取得する。業務調整をしながら取れるなら取る
- ・うちの職場は年休が取りやすいと思う
- ・職員数が常時たりず週休をとるのが精いっぱい
- ・自分の仕事の進み具合で休みをとっている
- ・必要な時に休めればよい
- ・人手がない管理職なので取得しづらい
- ・必要な時は休むことができる
- ・自由に取れているほうである
- ・取れる時に取れるので特に問題なし
- ・年休を取ると仕事が進まない

「職場が忙しい」、「とりづらい雰囲気」、「できるならもっととりたい」など、1から4までは、いずれも年休を取りたくてもとれない現状を反映している割合が40%となっていることから、職場環境改善の余地は大きい。

また、5「理由がなく休まない」が21%となっており、目的型休暇取得となっている事も、個々人で年休を取得できていない現状を更につくりだしていると考えられる。

(23) 時間外労働に対して職場で感じていること【複数回答可】 (問16)



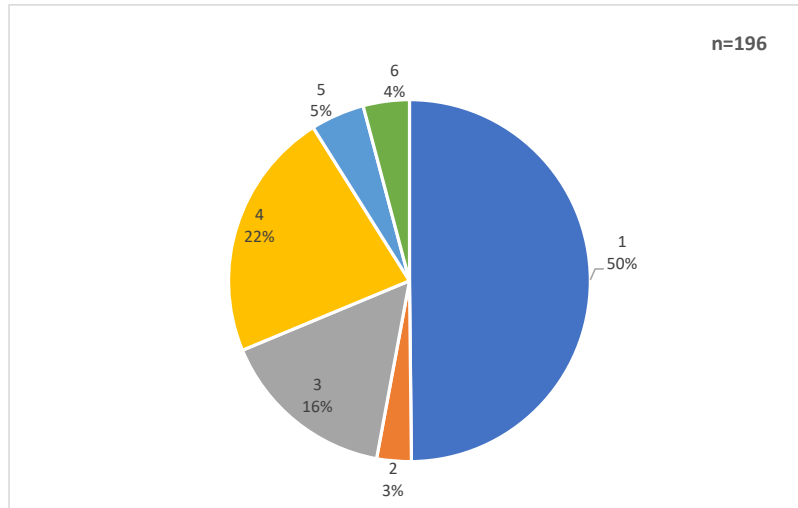
1	残業はない、しない又はできない状況である
2	できるなら残業はしたくない
3	仕事が楽しく、残業は苦にならない
4	仕事を効率化することで、残業する時間を減らせる (休みが取れる)
5	仕事を効率化しても、残業時間は減らない
6	業績が上がる (評価される) なら残業してもかまわない
7	仕事のスキルを上げるため残業することはいいことだ
8	ノルマややるべき仕事が多く、定時には帰れない
9	定時に帰る (又は休む) ことで職場のみんなに迷惑がかかる
10	残業が当たり前となっていて、定時に帰りづらい
11	定時退社や休みを取ってもやることはない
12	残業代のために残業をしている人がいると思う
13	その他 ( )

その他

- ・仕事を効率化しても残業は全体的に残るため残業する時間は減らない
- ・仕事を計画的に取り組むことで残業時間減少に繋がると思う
- ・定時直前に社員から急ぎの仕事依頼が来る
- ・自分は時短で帰宅するので上記のようなことは感じていない
- ・人員不足をカバーするため残業
- ・顧客の納期を守るためなら残業してもよい
- ・仕事を効率化するために残業している成果を実感することは今は少ない
- ・上司が積極的に定時にかえろうとしない
- ・自分の能力が上がれば定時にかえられる
- ・残業はするな、というわりには仕事の効率化がされておらず人によって残業が多い人がいる
- ・子供の迎えがある為長く残業はできない
- ・仕事が遅く残業と言われるほどの時間までかかってしまっている
- ・定期的にイベントなどがある場合、どうしても残業になってしまう
- ・業務中は現場に出てデスクに入る時間がない
- ・残業しない働き方を全社的に評価して欲しい
- ・要請があり可能であれば引き受ける
- ・仕事の効率化も会社全体で考える必要があるが、そのことに対しての評価が低いので誰も本気

「できるなら残業はしたくない」が25%であり、「効率化により残業を減らせる」が20%となっていることから、効率化による時間外労働の削減の余地は大きい一方、5「効率化しても残業は減らない」～10「定時に帰りづらい」までの約28%については、職場環境改善による改善の必要性は大きい。また、12「残業代のための残業」については、働く側の意識及び雇用側の処遇改善が課題と考えられる。

(24) 男性が育児休業を取得することについて【複数回答可】 (問17)



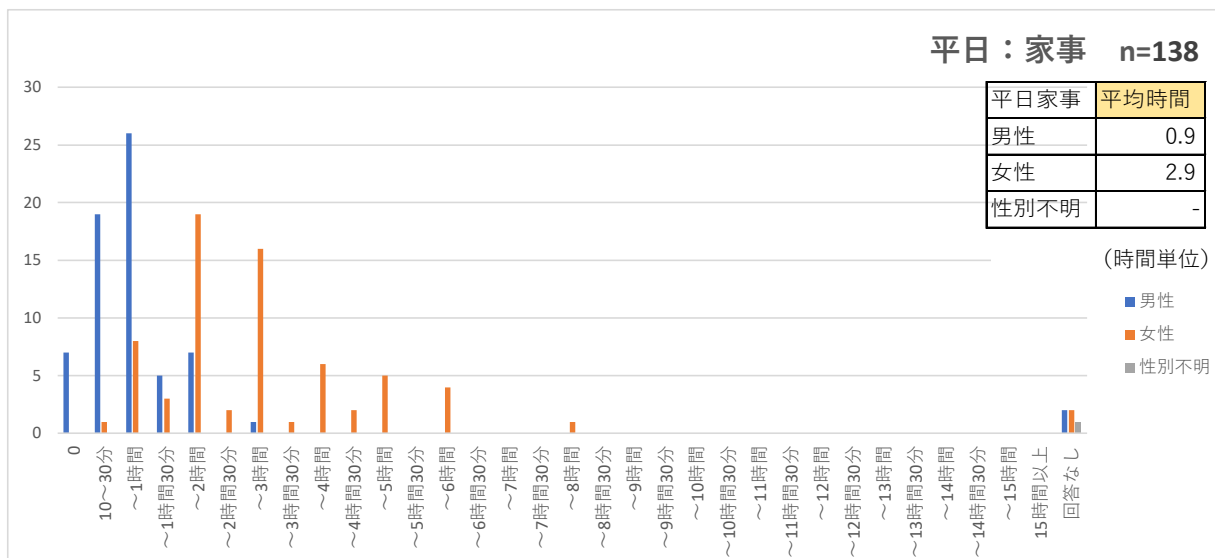
1	男性も積極的に育児休業を取得した方がいい
2	男性は仕事に専念した方がいい (女性が育児に向いている)
3	男性の育児休業はとりづらい職場環境である
4	育児休業中、給与が減る (又はなくなる) ので難しい
5	わからない
6	その他 ( )

その他

- ・業務に支障がなければ必要に応じて取得ありかも
- ・実績に取得したことがない為取得しづらい等はわからないが、取得したいと思っている
- ・男性上司が率先して取得するまたは声掛けしてうながす
- ・育休ではなく毎日定時で帰ってきてほしい
- ・本人が希望するなら男性も育児休業を取った方がいい
- ・男性で取得している経験者が少ない
- ・男性の育児休業を一週間〜でも義務化していくも社会的にも認めて長期間とりやすくなるのでは？
- ・私の場合はいない方が自分のペースで動けるので主人は育休取らなくていいとおもいました。いる方がストレスになる場合もある。
- ・取得した前例を知らない
- ・1〜2か月程度だったら良いとおもいます
- ・家庭環境に応じ必要であれば

「男性も積極的に取得したほうがよい」が50%を占める一方、22%が給与が減ることへの不安を抱えている。これは、男性が主たる収入を稼ぎ出す対象であることの関連性がうかがえる。また、「取りづらい環境である」が16%であり、職場での取得促進の取組が求められる。

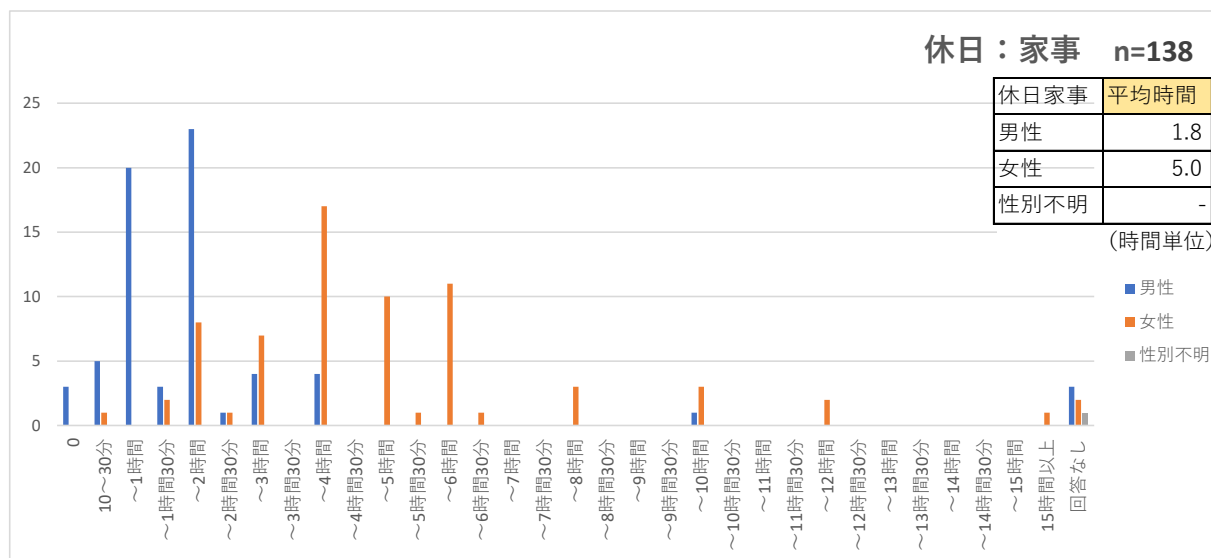
(25) 1日に行う家事に費やす時間(既婚者、平日・休日別に) (問18)



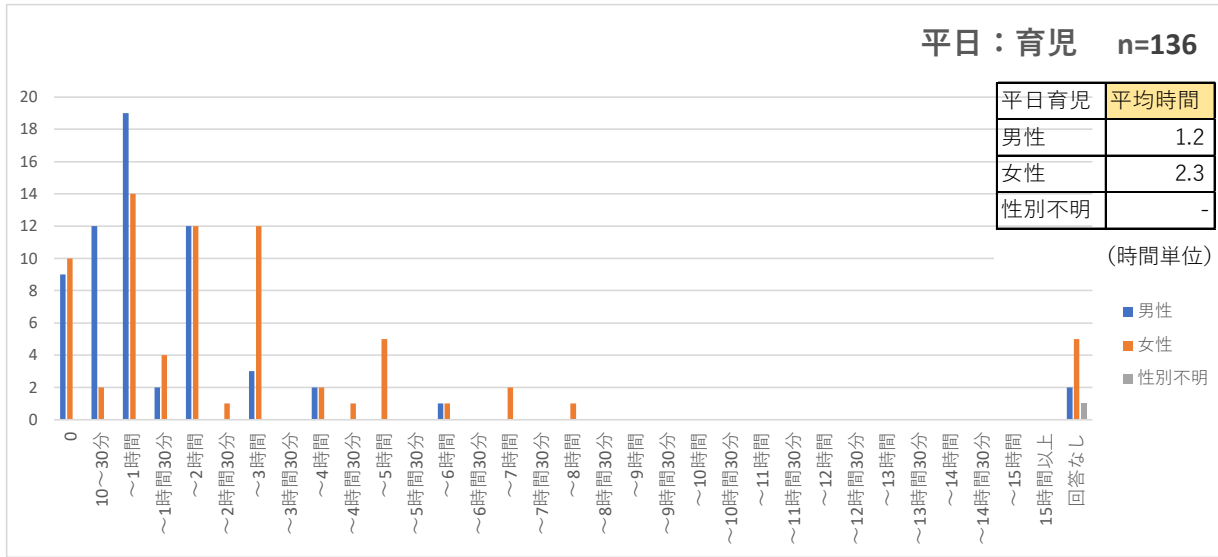
家事に費やす平均時間(平日・休日)

	平日	休日
男性	0.9時間	1.8時間
女性	2.9時間	5.0時間

平日及び休日における家事への参加状況として、男性に比べ、女性はその約3倍となっている。男性の正社員率の高さも原因の一つと考えられるが、家事は女性の仕事であるという各個人の認識の影響が大きいと考えられる。



(26) 1日に行う育児に費やす時間(子有、平日・休日別に) (問18)

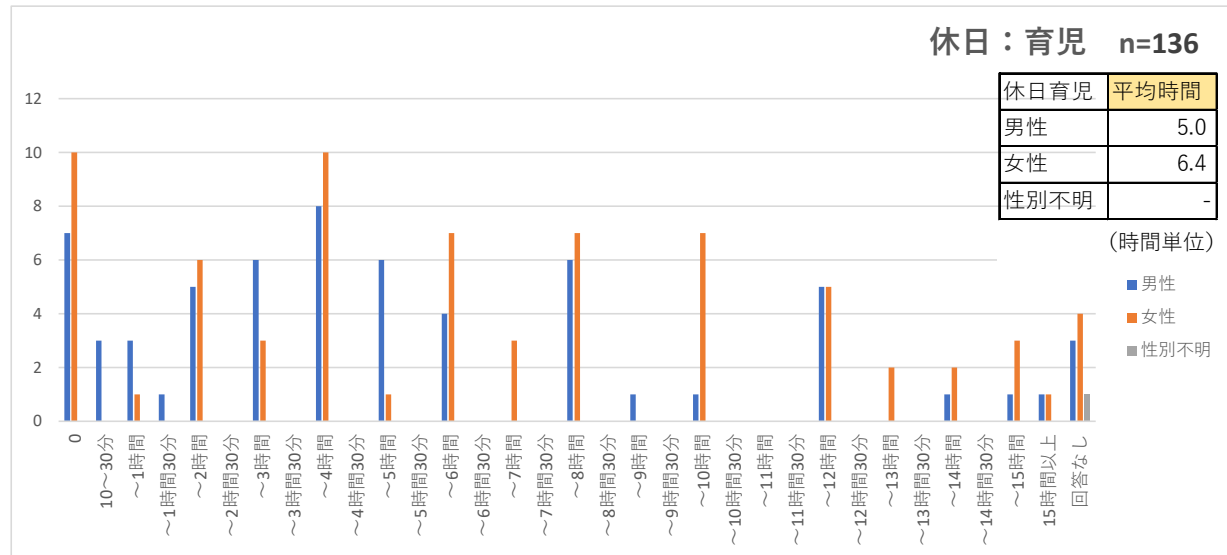


育児に費やす平均時間(平日・休日)

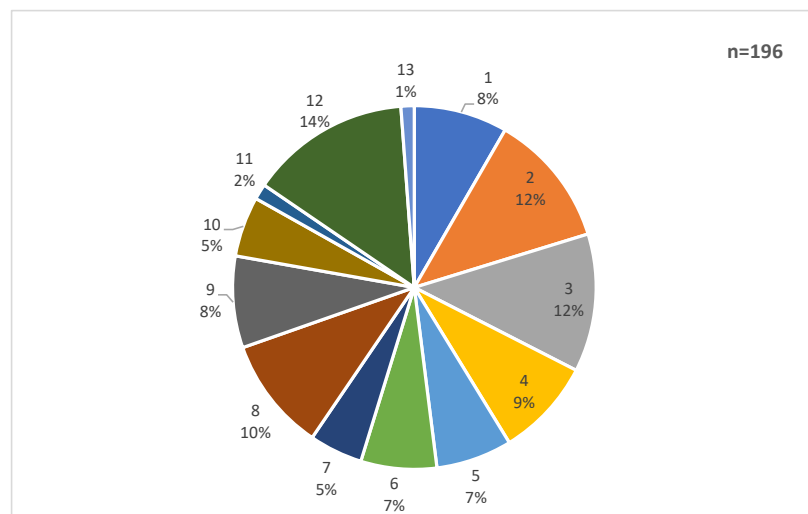
	平日	休日
男性	1.2時間	5.0時間
女性	2.3時間	6.4時間

平日における育児への参加状況では、男性に比べ女性が約2倍となっている。休日では男性に比べ女性が約1.2倍と大きな差はない。

休日における男性の育児へ費やす時間は家事に比べて長くなる傾向にある。時間のゆとりが、男性の子どもに関わることにつながると考えられる。



(27) 職場でWLB（仕事と生活の調和）のため、取り組んでほしいもの【3つまで】（問19）

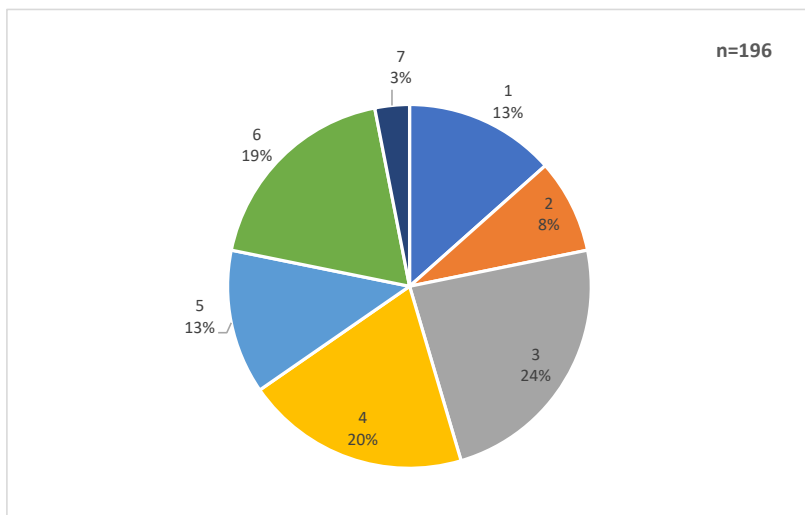


その他

- ・現場管理者向けの取組推進セミナー
- ・リフレッシュ休暇の設置
- ・業務の分担
- ・給与を上げるべき 沖縄の給与はひくすぎる
- ・奨学金返済免除の為の期限付き勤務の期間を延ばしてほしい
- ・へき地対応の職員の就職期限（三年）を延ばしてほしい
- ・年休や制度（在宅勤務・短時間勤務等）が取得しやすい雰囲気づくり

1	労働時間削減の取組（ノーマル残業デーの設置等）
2	年次有給休暇の取得推進（年休の時間単位での取得など）
3	評価制度の見直し
4	心身の健康支援（健康に関する研修、スポーツ助成金等）
5	労働者の自己啓発支援（研修費の助成、自己研修のための休業制度）
6	出産・育児に関する支援（育児休業及び復職支援含む）
7	介護に関する支援（介護休業及び復職支援含む）
8	時差出勤などのフレックスタイム制の導入等
9	働く場所に縛られない在宅勤務等の整備
10	病気と仕事の両立ための支援
11	相談窓口の整備
12	社員の増員
13	その他（ ）

(28) WLBが実現される社会のため、国や地方の取組として有効と思うもの【3つ】 (問20)



1	ラジオ、テレビ、冊子等での周知啓発
2	一般向けのセミナーでの周知啓発
3	会社のトップや管理者向けのセミナー
4	会社内での研修や勉強会
5	アドバイザーを会社に派遣し助言等を行う
6	ワーク・ライフ・バランス取組（設備投資を含む）のための経費助成（補助・貸し付け）
7	その他（ ）

その他

- ・ 残業しなくてもよい様、受注元と受注先双方でゆとりをもったスケジュールにしておく
- ・ 効率化に向けたセミナー等
- ・ 法律の整備
- ・ 法律などで制度化
- ・ 国会で決定し会社で休日・残業調整をさせる
- ・ 過労死などに対する会社への厳罰化・国の機関が率先してWLBを進める
- ・ 強制的にでも従業員のWLBをまもる制度の策定
- ・ 建築業は残業、休日出勤はあたりまえと考える年配者が多い。下請け会社が休日出勤したがる（給与が減るため）
- ・ 法律での強制、
- ・ 低所得者又は母子・父子家庭等の方は生活が苦しいので残業するしかないときもあります。会社のトップはそれを理解できてない方がおおいです。セミナーではたりません。
- ・ 強制として取り組んで欲しい
- ・ WLBが実現されていない事実の公表・報道
- ・ WLBを積極的に取り組んでいる会社へ認証を付与するなど
- ・ 法整備
- ・ アドバイザーを社員として雇用する

職場でWLBの為に取り組んでほしいことに対して、大きく偏るものではなく、「年次有給の取得推進」「評価制度」「社員増員」の3点であった。休みやすく、働きやすい職場づくりを求めている傾向にあるとも取れる。(問19)

そして、そのWLBを推進する上では、「管理者向けセミナー」の実施と「社内研修会」を外部の支援として、期待していることから、導入と継続においては、会社のトップや管理者を巻き込んだ取り組みが求められている。(問20)



## 沖縄県ワーク・ライフ・バランス実態調査（従業員用）

この調査票は、統計以外の目的に使用しません。  
 回答頂いた内容は、あなたの職場に提供はしません。  
 ありのままを記入してください。

### 【記入にあたってのお願い】

この調査は、従業員10人以上の事業所から無作為に抽出した100事業所に送付しています。

- 1 貴事業所が任意に抽出した従業員3名に記入をお願いしています。  
 （事業所においては、性別・年代が偏らないようにご留意下さい。）
  - 2 **令和元年6月30日現在の状況**を記入してください。
  - 3 ご記入いただいた調査票は、以下のいずれかの方法で提出下さい。  
 ①紙面を返信用封筒で郵送する。  
 ②ネット上で回答（沖縄県電子申請システムにて）  
 ③メールで提出。（エクセルデータを入力）  
 ※詳しくは、別紙の「実態調査 回答・提出方法」を参照下さい。
- 令和元年9月20日（金）までに** 返送（投函）ください。
- 4 調査結果については、令和2年3月頃「沖縄県 労働政策課」のホームページで公表します。
  - 5 この調査については、（株）Life is Love が沖縄県から受託業者として調査を実施しています。調査についてのご質問等は、下記までお問い合わせください。

### <問い合わせ先>

調査内容について

沖縄県 商工労働部 労働政策課 担当：島  
 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2  
 TEL (098) 866-2366 FAX (098) 866-2355

その他調査に関すること

株式会社 Life is Love 担当：吉村  
 〒901-0232 豊見城市伊良波157-1-1E  
 TEL (098) 987-0843 FAX (098) 987-7369

すべて回答は、番号を○で囲むか、回答欄がある場合は直接記入して下さい。

**問1 あなたの性別と年齢をお答え下さい。（番号に○をつけて下さい。）**

- 1 男性                      2 女性                      3 自認する性
- 1 10代      2 20代      3 30代      4 40代      5 50代      6 60代以上

**問2 あなたは結婚していますか。**

- 1 している                      2 していない

**問3 あなたにお子さんはいますか。**

- 1 いる                      2 いない →問5へ
- 3 子はいるが、教育や育児はしていない（他の者が行っている） →問5へ

**問4 あなたの一番下のお子さんは、どれにあてはまりますか。**

- 1 3歳未満                      2 3歳以上小学校入学前                      3 小学生
- 4 中学生                      5 高校生                      6 大学生等（高校以上で就学中を含む）
- 7 社会人                      8 その他

**問5 あなたは親や兄弟等の介護をしていますか。**

- 1 している（a～cに1つ○をつけて下さい。）  
 a ほぼ毎日2時間以上を介護に従事している（週14時間以上）  
 b ほぼ毎日2時間未満を介護に従事している（週14時間未満）  
 c 週4日程度（週7時間未満）
- 2 していない

**問6 現在の勤務先での雇用形態をお答え下さい。**

- 1 正規社員                      2 契約社員                      3 派遣従業員                      4 パート
- 5 アルバイト                      6 その他（                      ）

**問7 現在の勤務先での勤続年数をお答え下さい。**

- 1 1年未満                      2 1～3年未満                      3 3～5年未満                      4 5～10年未満
- 5 10～15年未満                      6 15～20年未満                      7 20年以上

**問8 勤務先の業種はどれですか。1つだけ○をつけて下さい。**

- |             |          |              |         |
|-------------|----------|--------------|---------|
| 1 建設業       | 2 製造業    | 3 電気・ガス・水道業  | 4 情報通信業 |
| 5 運輸業       | 6 卸売・小売業 | 7 金融・保険業     | 8 不動産業  |
| 9 飲食・宿泊業    | 10 医療・福祉 | 11 教育・学習支援事業 |         |
| 12 その他サービス業 |          |              |         |

**問9 あなたは週に平均何日働いていますか。**

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| 1 1日 | 2 2日 | 3 3日 | 4 4日 |
| 5 5日 | 6 6日 | 7 7日 |      |

**問10 直近1ヶ月の1日あたりの労働時間を教えてください。（残業時間含む）**

- |          |             |          |
|----------|-------------|----------|
| 1 6時間未満  | 1 6～7時間     | 1 8時間程度  |
| 5 10時間未満 | 5 10～12時間未満 | 6 12時間以上 |

**問11 ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っていますか。**

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| 1 よくわからない   | 2 内容はよくわからないが、聞いたことがある |
| 3 ある程度知っている | 4 よく理解している。            |

**問12 あなたの生活における優先度を教えてください。**

- 1 仕事も家庭（自分のための時間を含む）も同じくらい大切である
- 2 仕事を優先したい
- 3 家庭（自分のための時間を含む）を優先したい

**問13 あなたは、「仕事」、「家庭」、「地域活動」、「趣味・学習・健康」、「休養」についての時間の考え方を教えてください。（1つづつ○をつけて下さい。）**

	もっと増やしたい	今の水準でいい	減らしたい 又は 必要ない
1 仕事のための時間			
2 家庭生活のための時間			
3 地域活動（学校行事・ボランティア）の時間			
4 趣味・学習・健康増進のための時間			
5 休養のための時間			

**問14 直近1年間の年休や特別休暇の取得状況を教えてください。**

年休が付与された日数（年間）	年休を取得した日数	その他の休暇を取得した日数
日	日	日

※その他の休暇には、子の看護休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇等を含む

**問15 年休（休み）の取得について、あなたの考えをお答え下さい。【複数回答可】**

- 1 職場が忙しいので取りづらい
- 2 職場全体に年休を取りづらい雰囲気がある
- 3 理由がないと年休が取れない
- 4 できるならもっと休みを取りたい
- 5 理由がなく休むことはしない。（休む必要はない）
- 6 不測の事態に備えて、年休は常に残しておきたい。
- 7 その他（ ）

**問16 時間外労働に対して、あなたが職場で感じていることをお答え下さい。【複数回答可】**

- 1 残業はない、しない又はできない状況である
- 2 できるなら残業はしたくない
- 3 仕事が楽しく、残業は苦にならない
- 4 仕事を効率化することで、残業する時間を減らせる（休みがとれる）
- 5 仕事を効率化しても、残業時間は減らない
- 6 業績が上がる（評価される）なら残業してもかまわない
- 7 仕事のスキルを上げるため残業するのはいいことだ
- 8 ノルマややるべき仕事が多く、定時には帰れない
- 9 定時に帰る（又は休む）ことで職場のみんなに迷惑がかかる
- 10 残業が当たり前となっていて、定時に帰りづらい
- 11 定時退社や休みを取ってもやることはない
- 12 残業代のために残業をしている人がいると思う
- 13 その他（ ）

問17 男性が育児休業を取得することについて、どのように考えますか。  
【複数回答可】

- 1 男性も積極的に育児休業を取得した方がいい
- 2 男性は仕事に専念した方がいい（女性が育児に向いている）
- 3 男性の育児休業はとりづらい職場環境である
- 4 育児休業中、給与が減る（又はなくなる）ので難しい
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問18 あなたが1日に行う家事や育児に費やす時間について教えてください。  
（平日・休日別に）

1 平日：家事（炊事、洗濯、掃除等）	時間	分
2 平日：育児（子の世話、遊ぶ等子どもと接する時間）	時間	分
3 休日：家事（炊事、洗濯、掃除等）	時間	分
4 休日：育児（子の世話、遊ぶ等子どもと接する時間）	時間	分

問19 あなたの職場でワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のため、取り組んでほしいものは何ですか。【3つまで】

- 1 労働時間削減の取組（ノー残業デーの設置等）
- 2 年次有給休暇の取得推進（年休の時間単位での取得など）
- 3 評価制度の見直し
- 4 心身の健康支援（健康に関する研修、スポーツ助成金等）
- 5 労働者の自己啓発支援（研修費の助成、自己研修のための休業制度）
- 6 出産・育児に関する支援（育児休業及び復職支援含む）
- 7 介護に関する支援（介護休業及び復職支援含む）
- 8 時差出勤などのフレックスタイム制の導入等
- 9 働く場所に縛られない在宅勤務等の整備
- 10 病気と仕事の両立ための支援
- 11 相談窓口の整備
- 12 社員の増員
- 13 その他（ ）

問20 今、社会ではワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が求められています。ワーク・ライフ・バランスが実現される社会のため、国や地方の取組として有効と思うものは何ですか。【3つに○をつけて下さい】

- 1 ラジオ、テレビ、冊子等での周知啓発
- 2 一般向けのセミナーでの周知啓発
- 3 会社のトップや管理者向けのセミナー
- 4 会社内での研修や勉強会
- 5 アドバイザーを会社に派遣し助言等を行う
- 6 ワーク・ライフ・バランス取組（設備投資を含む）のための経費助成（補助・貸し付け）
- 7 その他（ ）

